

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587045901	科目番号 / Subject code	05870459
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14311_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ) / European, Asian and African Regional Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教員室 総合教育研究棟12階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2928		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ヨーロッパの文化と文明の影響力は今なお大きい。本講義では第一に、ヨーロッパ文化の基層について基礎的な知識を得る。第二に、ヨーロッパ文明が世界にもたらした影響を環境面において検討する。		
授業到達目標 / Goal	ヨーロッパの文化的環境の基層について基礎的な知識を得る。その上で、ヨーロッパがどのように独自の文化を形成し、それを変容させていったか、そして、その文化と文明が世界にもたらした影響を環境面において理解し、ヨーロッパを含む世界の今後を展望することができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に講義形式で行うが、講義のところどころにアクティヴ・ラーニングを取り入れるようにしたい。		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパとは何か 2 ヨーロッパ文化の基層1:ケルト 3 ヨーロッパ文化の基層2:ゲルマン 4 ヨーロッパ文化の基層3:ギリシャ・ローマ 5 ヨーロッパ文化の基層3:ギリシャ・ローマ 6 ヨーロッパ文化の基層4:ユダヤ教 7 ヨーロッパ文化の基層5:キリスト教 8 ヨーロッパ文化の基層5:キリスト教 9 キリスト教世界における動植物のイメージ 10 人と動物のヨーロッパ史:動物虐待と動物裁判 11 人と森のヨーロッパ史 12 ヨーロッパの拡大と環境破壊 13 都市の台頭と環境問題 14 近世バリの生活環境 15 工業化と環境破壊 16 試験 		
キーワード / Key word	ヨーロッパ、文化、文明、環境、歴史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	K・ボミアン『増補 ヨーロッパとは何か 分裂と統合の1500年』松村剛訳、平凡社(平凡社ライブラリー)、2002年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語 神話編』美術出版社、1997年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語 聖書編』美術出版社、1997年。D. A. マッケンジー『ゲルマン神話』東浦義夫・竹村恵都子訳、大修館書店、1997年。三輪福松『西洋美術の主題と物語 ギリシア神話と聖書から』朝日新聞社、1996年。西村賀子『ギリシア神話 神々と英雄に出会う』中央公論新社(中公新書)、2005年。ほか		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(100%)を予定しているが、場合によってはレポートを課すこともある。なお、定期試験には、論述問題が含まれる。		
受講要件(履修条件) / Requirements	講義中に不必要な私語をしないこと。また、食事をしないこと。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義で話された内容が現実の世界にどのように反映されているか、関わっているかを考えながら、受講して下さい。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587046701	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14351_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (宗教から見た日本) / Religion in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化1号館2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2916		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、仏教やキリスト教といったいわゆる「組織宗教」だけではなく、神社の祭りや儀礼、民間信仰といった多様な信仰のカタチをとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ日本社会の特質に迫る。		
授業到達目標/Goal	(1) 祭りや儀礼、民間信仰に関する宗教研究の基本的な概念について説明できるようになる。 (2) 身近な社会現象を宗教研究の用語、考え方をを用いて説明できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各回の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、授業の終了時には、講義内容に関するアンケートを実施する。その他、状況に応じて事前の課題講読、授業中の質疑討論を行う。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本の宗教文化を主題に、宗教研究の基本的な考え方を学び、それに基づき各回のトピックに合わせた具体的な事例を分析する。 特に、宗教研究の概論では、われわれが漠然と理解している「宗教」や「日本文化」といったものが、歴史的にどのように対象化されてきたのかということを理解し、その上で「宗教」に焦点を当てることで「文化」や「社会」の見え方がどのように変わってくるかを学習する。 各回のトピックにもとづく各論では、生老病死など人間にとって身近な主題を、概論で学んだ宗教研究の視座を通して分析する。それによって、現代日本社会の状況を相対化して捉える視座を養う。		
キーワード/Key word	宗教文化、風土、組織宗教、民間信仰、現代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加 (授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末レポート50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業の受講を通して、身近な問題を見つめなおすきっかけにいただければと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに		
第2回	宗教とは何か		
第3回	日本人と宗教		
第4回	民間信仰論		
第5回	日本文化起源論		
第6回	生業と自然		
第7回	神話と儀礼		
第8回	霊魂と世界		

第9回	死者との関わり
第10回	病気と身体
第11回	高齢化と宗教
第12回	福祉と宗教
第13回	災害と宗教
第14回	現代社会と宗教
第15回	まとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587046901	科目番号 / Subject code	05870469
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14361_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (日本のことばと文芸) / Japanese Language and Literature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 幸恵 / ikeda Yukie, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 幸恵 / ikeda Yukie		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 幸恵 / ikeda Yukie		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2931		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	さまざまな時代の言語資料を取り上げ、そこに見られる日本語の諸問題を考察することを通して、日本語・日本文化に対する理解を深める。		
授業到達目標/Goal	日本語・日本文化の特徴について説明することができる。 文学作品をさまざまな視点から読み、それを自分の言葉で伝えることができる。 日本語・日本文化の歴史的な変遷について理解し、それを現在の身近な問題と結びつけて考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	日本語 日本文学 漢字		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の課題50%、口頭発表25%、定期試験25%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の古典では学んだことのない文献資料が日本には数多く残されています。それらにふれることにより、日本語・日本文化に対する理解を深めましょう。受講に際しては、日本語の古典文法や現代語文法について高校程度の知識があることが望ましいです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	奈良時代の言語資料(1)		
第3回	奈良時代の言語資料(2)		
第4回	奈良時代の言語資料(3)		
第5回	平安時代の言語資料(1)		
第6回	平安時代の言語資料(2)		
第7回	平安時代の言語資料(3)		
第8回	平安時代の言語資料(4)		
第9回	鎌倉時代の言語資料		
第10回	室町時代の言語資料(1)		
第11回	室町時代の言語資料(2)		
第12回	江戸時代の言語資料(1)		

第13回	江戸時代の言語資料(2)
第14回	学生による発表(1)
第15回	学生による発表(2)
第16回	テスト